

2024 神戸GCP UPLB農学英語コース概要

2024 神戸GCP「UPLB農学英語コース」概要

本コースはフィリピン大学ロスバニョス校（UPLB）に3週間滞在し、生きた英語と異文化理解を学ぶ農学部主催の海外派遣プログラムです。

- 対象学年：農学部1年・2年
- 定員：農15名 + α さらに理学部から5名程度(最大26名)
- 事前学修、海外研修プログラム(現地研修)、帰国後の事後学修を修了することで、以下の単位を取得できます。

【総合教養科目】

グローバルチャレンジ実習（神戸GCP：UPLB農学英語コース） 2単位

* 「GCP」とは？

グローバルチャレンジプログラム(GCP)は、世界に足を運ぶことで、国内での学びからは得がたい体験・発見を通じ、広い視野、深い教養、高い専門性を身につけた人材の育成を目標としています。

本コースの特長

- (1) 神戸大学の正規プログラムです（単位付与、教員と一緒に滞在）
- (2) 研修先のUPLBキャンパス内のホテルに一室2～3名で滞在
- (3) アクティブラーニングで英会話力の強化を目指します（個別の成績評価、修了書あり）
- (4) 学年や学部、学科の枠を超えた友人、仲間ができます
- (5) UPLB 選抜学生(Facilitator / Student Guardian)と交流をしながら英語実践力の向上を目指します
- (6) 大学での授業のほか、農学関連施設や農場、歴史建造物などを訪問し、フィリピンの自然、文化、歴史、生活を体感することができます
- (7) 神戸大学から一部費用の支援制度あり（予定、要件を満たした場合）

履修登録～現地研修～帰国までのスケジュール

- 10月上旬にプログラム説明会実施、受講申請、月内に受講者決定（先着順、2年生優先）

*申請時の注意点：申請時点で2025年9月以降まで有効なパスポートを保有していること（フィリピン入国時に、パスポートの残存期間が6か月以上必要のため）

- 11月に航空券購入
- 12月から2月下旬の出国までに事前学修会4回（各回約3時間）
- 2月下旬～3月中旬現地研修（全日程で神戸大学教員が帯同予定）
- 帰国後、事後学修会1回（約3.5時間）

事前学修会

- 参加者同士、学年、所属学部・学科を超えてお互いを知り合う
- 過去のプログラム参加学生と歓談しながら情報収集
- フィリピンの歴史、文化、研修先のフィリピン大学ロスバニョス校 (UPLB) について調べグループでプレゼン
- 現地で役立つタガログ語の初歩

◆ 海外旅行における危機管理学修（必修）

まずは10月の
プログラム説明会にご参加
ください！

説明会日時は9月にお知らせします。

【お問い合わせ】

農学部教務学生係

ans-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

078-803-5928

